

和2年度

ジュニアリーダー通信

第5号

令和2年10月

岐阜市ジュニアリーダークラブ

岐阜市ジュニアリーダークラブ始動！

秋も深まってきました。ようやく、ジュニアリーダークラブがスタートします。久しぶりに集うことができましたね。また、新人のジュニアリーダーのみなさん、ようこそ岐阜市のジュニアリーダークラブへ！みなさんの入会を心より歓迎します。

出身校も学年も異なるメンバーが、5つのブロックに分かれ、クラブを結成しています。ジュニアリーダーとしての資質を磨き合いながら、ブロックならではの交流が深まることを願っています。

ジュニアリーダークラブ在籍数

(9月末現在)

	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	合計
中学生	24名	18名	19名	37名	22名	120名
高校生	8名	1名	2名	6名	3名	20名
合計	32名	19名	21名	43名	25名	140名

定例会 資料・配付物

- ・「岐阜市ジュニアリーダーのみなさんへ」
- ・「岐阜市ジュニアリーダークラブ規約」
- ・「岐阜市ジュニアリーダークラブ年間活動計画」(各ブロック) 裏面＝緊急時の対応について
- ・「全国子ども会安全共済会」パンフレット
- ・ジュニアリーダー名札カード
- ・その他・・・シニアリーダーからの配付物

「名札カード」は、表面にはジュニアネームを、裏面には住所・氏名・緊急連絡先を記入して使用してください。ホルダーを用意して、活動時には、身につけてください。

11月

ブロック定例会【日時・内容・会場予定】

1ブロック	11月21日(土)	14:00~16:00	依頼研修	ゲーム研修	北青少年会館
2ブロック	11月28日(土)	14:00~16:00	依頼研修	ゲーム研修	青山青少年会館
3ブロック	11月21日(土)	14:00~16:00	依頼研修	ゲーム研修	中央青少年会館
4ブロック	11月14日(土)	14:00~16:00	依頼研修	クリスマス会計画	青少年ルーム
5ブロック	11月28日(土)	14:00~16:00	依頼研修	ゲーム研修	長森コミセン

岐阜市子ども会育成連合会表彰について

岐阜市子ども会育成連合会では、例年、「優良年少指導者」として、クラブに在籍する高校3年生、中学校3年生を対象に、優れた指導力を身につけたジュニアリーダーを表彰しています。定例会、研修会への出席参加や子ども会活動のサポーター状況等を参考に選考されます。クラブの活動を通して、地域社会の中で活躍するジュニアリーダーとして成長されることを期待しています。継続してクラブに在籍してくださいね。



★目標は「危険を自覚し、自分自身の安全は、自分で確保する能力を身につける」ことです。

1 なぜKYTに取り組むの

事故をどうやって未然に防ぐか、危険をどうやって回避するかの方法は、参加者自身が、危険を自覚できる能力を身につけることです。そのためには、日常生活の中で、あるいはあらかじめ机上での危険回避の練習をしておくことが大切です。

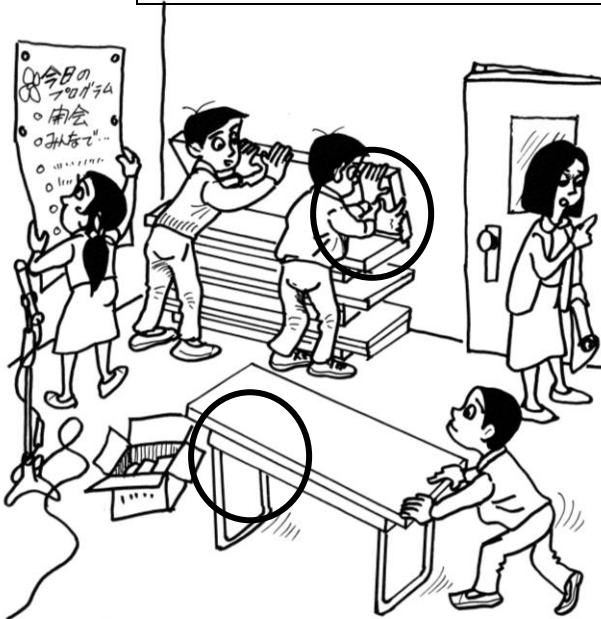
KYTは、産業界（中央労働災害防止協会提唱）における危険予知トレーニングをもとに考案されました。危険を伴う毎日の作業過程において、注意を怠ると災害につながる点を、イラストにより事前にチェックする作業方法です。

直接体験が不足しがちな現状では、『危険予知』『危険回避』能力の点でいくつかの課題があると言われています。そこで、KYTを用いて、活動する際にどのような危険が潜んでいるのかを事前に予知し、危険を回避する力をつけていくことが大切なのです。

2 KYTの進め方

自らが危険を予知し、回避する能力を養うことができるよう、様々な活動場面を想定した図を見ながら、危険のポイントに気付く視点をもつことが大切です。

(1) 【危険を発見する】どんな危険がかかっているか？



(状況) 集会の後片付けをしています。

- イラストシートを見て、危険と思うポイントに○をつけよう。
- ○をつけたところがなぜ危険なのか、その理由を考えよう。

危険のポイント

- ① 危ないことをしていないか。・・・行動
- ② 用具の使い方は正しいか。・・・用具
- ③ 服装は活動にふさわしいか。・・・服装
- ④ 危険な場所はないか。・・・場所
- ⑤ 心や気分はだいじょうぶか。・・・気持ち
- ⑥ 自分たちの体力でできるか。・・・体力

(2) 【危険の要因を考える】これが危険のポイントだ！

(3) 【具体的な対策を考える】わたしならこうする！

こうすることが必要だ。
こうして事故を防ぐ。

3 日常のKYTの研修について

研修会を1度行っただけで、簡単に力がつくというものではありません。大切なことは、日常的にこうした研修を行うことですが、時間には限りがあります。そこで、毎回の活動をはじめる前に、「5分間KYT」のような時間をとり、安全について考える習慣をつけていくと効果的です。

定例会を始める時も、その日の活動を想定して、「5分間KYT」を行いましょう。